

「2017年春の山小屋祭」開催報告

記録:8期 齋藤伸隆

4月に開催する予定だった「春の山小屋祭」を、事情により延期して

6月10日(土)～11日(日)に開催しました。

延期したために参加者は以下の9名と少人数でしたが、和気藹々、楽しい2日間を過ごしました。

(参加者)

中村春美(19期)、明石純一(20期)、越後純子(28期)、小高由紀子(30期)、堀竹 順(30期)、堀竹玄一郎(子)、松田明浩(30期)、鳥居塚 健(33期)、齋藤伸隆(8期)

初日の土曜日は、車組と新幹線組が越後湯沢駅の駐車場で集合し、裏巻機溪谷のハイキングに向いました。

南魚沼市にある五十沢キャンプ場の奥に、森林公園「天竺の森」があり、公園の「みやて小屋」駐車場から、五十沢川の滝を見ながら巻機山の山腹を巻いて歩く、片道約1時間の遊歩道があります。

天気予報の通り、今にも泣きだしそうな空模様でしたが、ピンク色のウツギが咲く道を歩きはじめ、足を濡らして沢を渡ったり、黒部川の下ノ廊下をほんのちょっぴり思わせる、岩壁に刻まれた道を通ったりして、オオヒド沢というところまで行きましたが、風が強くなり、雨が降ってきそうになったので、ここで引き返し、駐車場で昼食にしましたが、食べ終わると同時に雨が降りはじめ、引き返しは大正解でした。

その後、萌気園「さくり温泉健康荘」という温泉で入浴後、小屋に向い、雪囲いを外し、室内の掃除をしてから、曇天で、いつものように山菜山盛りの夕食と「八海山」、恒例の餅つきを楽しみました。

二日目は、皆で、雪で割れたトイレの窓ガラスの応急修理と、小屋の周りの草刈をし、清水部落にある雲天の母ちゃんの墓参りをしてから帰路に就きました。

今回は、いつもの道と違う、沢口から山越えで越後湯沢に出る道を通りましたが、これが大当たりで、峠近くでは巻機山と上越国境稜線、苗場山、越後大源太山と谷川連峰と、大展望が広がる絶景ルートでした。林道ですが、舗装されて道幅も広く、走りやすい道なので、お勧めルートです。

小屋の周辺は、10月にはため息が出るような見事な紅葉・黄葉になりますが、その頃に秋の山小屋祭を開催したいと思います。